

環境仕様



「2030年度燃費基準80%達成車」
Original(FF)、Premium(FF)



「2030年度燃費基準75%達成車」
Premium Tourer(FF)、RS(CVT)、
Original(4WD)、Premium(4WD)



「2030年度燃費基準70%達成車」
Premium Tourer(4WD)



「平成30年排出ガス基準75%低減レベル」認定車
全タイプ

車両型式		6BA-JG3			6BA-JG4			
基礎情報	原動機	型式	S07B					
		総排気量(L)	0.658					
駆動装置	駆動方式	FF			4WD			
	変速機	CVT		6MT	CVT			
環境性能情報	燃料消費率 ^{*1}	JCOEモード	燃費(km/L)	28.8	25.6	22.0	25.4	23.8
		参考	CO ₂ 排出量(g/km) (燃費からの換算値)	80.6	90.7	105.5	91.4	97.5
			燃費(km/L)* ²	23.0	21.8	—	21.0	20.2
		WLTCモード	市街地モード(WLTC-L)	19.5	17.6	17.5	18.4	17.2
			郊外モード(WLTC-M)	24.3	23.2	22.8	22.5	21.6
	高速道路モード(WLTC-H)		24.0	23.3	23.1	21.4	20.8	
		CO ₂ 排出量(g/km) (燃費からの換算値)	100.9	106.5	107.5	110.6	114.9	
	排出ガス	適合規制・認定レベル		平成30年排出ガス基準75%低減				
		試験モード		WLTCモード				
		認定基準値 (単位:g/km)	CO	1.15				
NMHC			0.025					
NO _x			0.013					
PM	—							
参考	九都府市指定低公害車の基準に適合 (平成30年基準)		—	九都府市指定低公害車の基準に適合 (平成30年基準)				
適合騒音規制レベル		平成28年騒音規制 規制値:加速走行72dB(A)						
エアコン冷媒	種類/GWP値 ^{*3}	HFO-1234yf/1 ^{*4}						
	使用量	310g						
車室内VOC		自工会目標達成(厚生労働省室内濃度指針値以下)						
環境負荷物質削減	鉛 ^{*5}	自工会2006年目標達成(1996年使用量 ^{*6} の1/10)						
	水銀 ^{*7}	自工会目標達成(2005年1月以降使用禁止 ^{*8})						
	六価クロム	自工会目標達成(2008年1月以降使用禁止)						
	カドミウム	自工会目標達成(2007年1月以降使用禁止)						
	自工会目標適用除外部品	*5:鉛バッテリー(リサイクル回収ルートが確立されているため除外) *7:ナビゲーション等の液晶ディスプレイ、コンビネーションメーター、ディスチャージヘッドランプ、室内蛍光灯(交通安全上必須な部品の極微量使用を除外)						
リサイクル	樹脂、ゴム部品への材料表示	100g以上の樹脂部品全て						
	リサイクルしやすい材料 ^{*9} を使用した部品	ウインドウモール、ウォッシャーチューブ、エアフローチューブ、エンジンハーネス、カウルトップガーニッシュ、グローブボックス、サンバイザー、センターコンソール、ドアライニング、バンパーフェース、ピラーガーニッシュなどの内外装部品						
	再生材を使用している部品	—						
	リサイクル可能率	車全体で95%以上 ^{*10}						
環境負荷物質使用状況等	鉛	使用部品:塩ビ・ゴム部品、圧電素子等(PZTセンサー)						
	水銀	全廃済み						
	六価クロム	全廃済み						
	カドミウム	全廃済み						
その他	グリーン購入法適合状況	グリーン購入法適合車		—	グリーン購入法適合車			

*1 燃料消費率は定められた試験条件での値です。お客様の使用環境(気象、渋滞等)や運転方法(急発進、エアコン使用等)に応じて燃料消費率は異なります。
 *2 WLTCモード:市街地、郊外、高速道路の各走行モードを平均的な使用時間配分で構成した国際的な走行モード。市街地モード:信号や渋滞等の影響を受ける比較的低速な走行を想定。郊外モード:信号や渋滞等の影響をあまり受けない走行を想定。高速道路モード:高速道路等での走行を想定。
 *3 GWP: Global Warming Potential(地球温暖化係数)
 *4 フロン法において、カーエアコン冷媒は、2023年度までにGWP150以下(対象の乗用車における国内向け年間出荷台数の加重平均値)にすることを求められております。
 *5 1996年乗用車の業界平均使用量は1850g(バッテリーを除く)。
 *6 交通安全上必須な部品の極微量使用を除外。
 *7 ポリプロピレン、ポリエチレンなどの熱可塑性プラスチック。
 *8 「新型車のリサイクル可能率の定義と算出方法のガイドライン(1998年 自工会)」に基づき算出。
 ※ この環境仕様書は2021年4月現在のものです。
 ※ 写真の車両の「燃費基準達成ステッカー」と「低排出ガス車認定ステッカー」は、実際の車両には貼られていない場合がございます。
 また、写真上の当該ステッカーの内容は、2021年3月末時点のものです。